

ごあいさつ

GREETING



東京都区部
ミニバスケットボール連盟
会長

前田 武士

TOMAS CUP 2018 第34回東京都区部ミニバスケットボール大会を開催出来ますことは、関係各位皆様のご協力とお力添えの賜物と、衷心より御礼申し上げます。

当大会は東京都23区の代表ならびにコリア選抜チームの男子24チーム女子22チームによって、11月24日土曜日、11月25日、12月2日、9日の日曜日の3週間に渡り開催されることとなりました。

芸術・文化・スポーツ支援活動に積極的に取り組まれておられますリソー教育グループトーマス様には、第24回大会から特別協賛を賜り、大会内容の充実、発展と、より良い競技環境での運営に多大なお力を頂戴しています、深く感謝申し上げます。リソー教育グループトーマス様をはじめとする協賛各社様、会場の提供ならびに運営を担当いただく、江東区、葛飾区バスケットボール連盟、練馬区、大田区ミニバスケットボール連盟、文京区、荒川区バスケットボール協会、大会運営役員、チームスタッフ、さらにはご父兄の皆様等々、多くの方々のご理解とご協力を得て素晴らしい大会になるよう願っております。

いよいよ、2020年東京オリンピックもあと2年となりました。日本代表男子は、アジア地区2次予選突破に向け、負けられない戦いが続いています。現在1次予選から4連勝、その大きな原動力はアメリカで活躍している若い二人の渡邊雄太選手、八村塁選手が加わったことによるものです。男子・女子共に2020年東京オリンピック出場を願っております。また、TOMAS CUPに出場した選手達の中から、この先日本代表選手が生まれたら素晴らしい事だと思います。

各地区の代表選手達が「ミニバスケットボールを通じて、心身の健全な育成を目的とし、併せて日頃の練習の成果を發揮し合うと共に、親睦を深めること、そしてバスケットボールの普及発展を図ること」を主旨に、力の限りのプレーを發揮して欲しいと思います。勝利を目指すと共に、たくさんの友達と信頼・友情・感動を共有されることを期待いたします。

スタッフ、役員一同協力し努力を惜しまず頑張る所存でございます。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。「この大会に参加される一人一人に素敵な思い出が出来ますように！」



株式会社リソー教育
代表取締役社長

天坊 真彦

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、首都圏のミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で11回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後ともいえるこの大会を、こうした形で応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加に至るまでの練習、トレーニングを通じて、バスケットの技術の上達や体力の向上だけでなく、ライバルとの競い合い、フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・勝利の喜び・負けたときの悔しさ・思いやり・友情といったこれから生きていくうえでとても大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとっては、勉強ももちろん大切ですが、おけいこ事・習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。それらを通じて様々な目標に、正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援を始めとする社会貢献活動に取り組んでいきます。

日本のバスケットボール界から2人目のNBA選手が誕生したと聞きました。バスケットボールにおいても、世界で活躍するということがもう夢物語ではなくなっているようですね。今日の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さんのチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。